

3 備中県民局協働事業審査委員会の開催

協働提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言を求める目的で、平成22年度に設置したものの。

平成22年度備中県民局協働事業審査委員会委員

- ・松畑 熙一（委員長）中国学園大学・中国短期大学 学長
- ・岡崎 順子 岡山県立大学保健福祉学部 教授
- ・小川 孝雄 岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 所長
- ・古賀 桃子 ふくおかNPOセンター 理事長
- ・靄 理恵子 吉備国際大学社会学部 准教授
- ・松井 哲也 倉敷市市民活動推進課 課長

【第1回】

日 時：平成22年6月8日（日）9:00～18:40

場 所：備中県民局会議棟第4～第6会議室

主な議題：平成22年度協働事業提案募集制度の第2次審査（プレゼンテーション）

結 果：応募された26事業のうち、第一次審査を通過した25事業について審査した結果、5事業を選考した。

【第2回】

日 時：平成22年12月13日（月）13:30～16:00

場 所：備中県民局会議棟第4会議室

主な議題：平成23年度に向けた協働事業提案募集制度の改正

結 果：平成22年度の選考状況等を踏まえ、
・募集期間の前倒し
・助成限度額の設定
・中山間地域での実施事業への加点等の制度改正を行った。

【第3回】

日 時：平成23年3月24日（木）13:30～16:00

場 所：備中県民局会議棟第4～第6会議室

主な議題：平成22年度に協働事業提案募集制度により選考された5事業の結果報告のプレゼンテーション及び全体の講評

結 果：協働事業に対し、下記のと通りの委員会意見が出された。

平成22年度備中県民局協働事業提案募集に係る委員会意見（案）

備中県民局協働事業審査委員会として、提案された事業について選考から結果報告までを踏まえて、次の3点を指摘及び提案したい。

- 1) 「協働」とは何かを考えるべきである。事業によっては補助を行うだけでなく、県としての指導性を発揮するなど、事業を実施する各種団体の自主性を尊重しつつ、事業効果が上がるような関与を深めるべきである。
- 2) 結果報告について、「総括＋課題＋方向性」といった次年度以降につながる内容にすべきである。やって終わりというレベルの報告では協働の推進として不十分である。
- 3) 複数年度かけて実施することで、より効果が見込める事業については、募集内容や選考方法も含めて検討することを提案したい。